

**授業概要**

本講義の前半では、「パーソナリティ」およびその研究知見、測定法について紹介する。また、パーソナリティと健康、文化、犯罪などの関連についても講義する。後半では、パーソナリティと関連が深い「感情」についての基本的理論、感情と認知、感情の制御、感情と病理に関して講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	パーソナリティとは何か
第 3 回	類型論と特性論
第 4 回	特性論に基づく心理検査
第 5 回	性格の 5 因子論と心理検査
第 6 回	発達とパーソナリティ
第 7 回	文化とパーソナリティ
第 8 回	犯罪とパーソナリティ
第 9 回	心身症とパーソナリティ
第 10 回	共感性と援助行動
第 11 回	感情の理論：抹消起源説・中枢起源説
第 12 回	感情と認知：情動の二要因説・表情フィードバック仮説
第 13 回	感情の制御：バイオフィードバック・マインドフルネス
第 14 回	感情が行動に及ぼす影響
第 15 回	感情と病理
第 16 回	試験

**到達目標**

- ・類型論と特性論の違いを理解できる。
- ・心理検査を行う上での注意点を指摘できる。
- ・感情に関する理論を概説できる。
- ・感情の機能について説明できる。

**履修上の注意**

- ・質問は、講義内でも応じるので、わからないことはそのままにしないようにすること。
- ・主に講義形式で行うが、グループワークなども行うので積極的に参加すること。
- ・公認心理師の受験資格取得科目である。

**予習・復習**

- ・予習として講義内容に含まれるキーワードについて調べること。
- ・復習として講義で用いた資料を読み返すこと。

**評価方法**

試験の結果 70%、毎回の授業課題 30%を総合した上で評価を行う。

**テキスト**

特に指定しませんが、講義にて適宜紹介いたします。  
講義は配布資料に基づいて進めます。